

そよかせ



名寄市立風連中央小学校
学校通信
第3号
令和5年6月30日発行

ストレスを自分ではね返せる子に

風連中央小学校長 石坂 剛

「今日が運動会だったらよかったのに。」そんな言葉を飲み込みながらPTAの方々で行った前日準備作業。しかし、予報では翌日は雨、日曜日には回復の見込み。それならば…と芳賀PTA会長と相談し、運動会の延期を決断しました。一日休息を挟んで日曜日はまずまずのコンディションで運動会を開催することができ、ほっと胸をなで下ろしました。大勢の皆様から子供たちへの御声援をいただき、また、PTAの皆様にも朝のテント設営や終了後の後片付けなどたくさんのお手伝いをいただきましたことに感謝申し上げます。

運動会が終わって、学校は落ち着いた雰囲気です。1学期の終盤を迎えています。子供たちの表情や行動も運動会前より落ち着いた気がします。運動会の1週間前は、教職員もオーバーワークでストレスが掛かっていましたから、子供たちはより強くストレスを感じていたのかもしれませんが。改めて、学校行事は子供たちにとって非日常的な活動なのだ実感しました（それだけに、大きな飛躍の機会でもあるのですが）。

子供のストレスについて、「青少年希望の家 土井ホーム」代表の土井高德氏は、自身の著書の中で次のように書いています。

困難に負けない子を育てるのにまず大切なのは、子ども自身の強さを育てるということです。強さというのは、ストレスへの抵抗力、逆境に負けない強靭な力、折れない心、そして受けてしまったストレスからの回復力のことです。（中略）この力には個人差があります。生来この力が弱いとしても、子どもが十分な安心感をもてる安全な環境を保障することで、こうした力は少しずつ育っていきます。

庭木を手入れする植木職人が、私に次のように語ったことがあります。花も実もなる枝が1メートル伸びれば、1メートルの根が見えない土の中で伸びている。2メートルの枝は2メートルの根が支えています。だから、根を張り切らぬうちに上へ上へと伸びるアマゾンの樹木は嵐や風に簡単に倒れるのだ、という話でした。

青春出版社『ちょっとしたストレスを自分ではね返せる子の育て方』より抜粋

私は、学校で子供を育てるときは、アマゾンの木にしてはいけない、家庭が根っこを力強く張らせるのとタイミングやバランスを図って資質・能力の枝を伸ばさなければいけないと考えています。学校と家庭が連携して安心・安全な環境を確保し、子供の自尊感情を培うことで、降りかかるストレスにたやすく負けず、自分ではね返せる子に育つのではないのでしょうか。

3年ぶり全学年一斉で「運動会」を実施

雨天のため、1日順延となりましたが、多くの保護者の方々や地域のご来賓の方々の前で、風連っ子の輝きをご覧に入れることができました。昨年度までは、感染症対策のため開催時間を3つに分け、観客も入れ替えながらなどの実施でしたが、今年は、全学年がいっしょに実施することができました。入場行進を6年生の鼓笛演奏で行い、そのまま曲を披露する。種目数の精査など、今後の新たな運動会スタイルを試行しながらの実施となりましたが、子供たちは、元気一杯、笑顔満開で、グラウンドを駆け回っていました。



安全安心を目指して



地震・火災避難訓練

6月16日(金)には、不審者侵入を想定した避難訓練を行い、6月21日(水)には地震からの火災を想定した避難訓練を実施しました。避難場所に移動した後、消防の方からの講話を頂き、煙体験も行いました。ハンカチで口を押さえ、身を低くして進みました。煙の怖さを実感して、子供たちの危機意識も高められました。



スマホ・ケイタイ安全教室

5年生の参観日では、NTTドコモの協力で保護者と一緒にスマホ使用の正しい知識を学びました。



7月の予定

- 3(月) ALT 派遣日
- 5(水) 生徒指導・補導協議会
- 7(金) 全校朝会
児童会④
- 9(日) PTA 環境整備
- 10(月) 平和大行進
- 11(火) 個人懇談①
書道展作品書き
- 12(水) アウトリーチ(WS) ※A日課
個人懇談② ※A日課
書道展作品書き1
- 13(木) PTA5 役会議
- 14(金) 読み聞かせ(低)
個人懇談③
教材費振り込み週間(～21日)
- 17(月) 海の日
- 18(火) 書道展作品書き
- 20(木) 大掃除
いじめ防止サミット
- 21(金) 終業式
- 22(土) 夏季休業(～8/17)
- 24(月) 夏休み教室
- 28(金) 都会っ子体験交流(～31日)